



東原岸舎東部校 新入学児童 (4/11)

議会だより

平成30年
3月定例会
第36号
1・2・3月臨時会

目次 contents

主な議案 ▶ P2
議案質疑 ▶ P3
審査報告 ▶ P5

視察報告 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ P8
一般質問 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ P9
街で発見！ 志田林三郎 ▶ ▶ ▶ P12

3月定例会／臨時会

主な議事日程

3月 2日	開会・提案理由説明
5～6日	議案研究
7日	議案質疑
8日	委員会審査
12～15日	一般質問
19～20日	討論・採決・閉会

平成30年3月市議会定例会は3月2日～22日まで（会期21日間）開かれました。

今回は6人の議員が市政一般に対する質問を行いました。
また、市長から提出されました議案32件（条例8件、予算20件、その他4件）の議案について審議し、いずれも原案どおり可決したほか、議会提出議案2件を可決しました。

主な議案

平成30年度 当初予算

一般会計

歳入歳出 123億円

●公立病院統合検討業務

1136万円

新病院改革プランに掲げる「小城市民病院との統合、新病院設置」の可能性を検討



●市消防南多久分団本部車庫新設事業

3694万5000円

南多久分団本部車庫の老朽化等に伴う改修工事

●弓道場整備事業

1165万3000円

新たなスポーツ交流拠点及び平成35年度に開催される国民体育大会の弓道場整備の設計費用

●志田林三郎顕彰事業

1311万9000円

明治維新150年記念事業として志田林三郎博士に関する講演会及び企画展の開催、また博士が製作した自記電流計の復元費用

●ハザードマップ作成業務

749万6000円

市ハザードマップの改訂版作成費用



平成29年度

多久市一般会計補正予算

歳入歳出

4億7532万1000円を減額し

123億7541万円

議員定数条例の一部を改正

議員定数の改正

【現状】16名→【改正】15名

（次回改選時より）

1月臨時会

●多久市マテリアルリサイクルセンター（仮称）建設工事の請負契約
終結

2月臨時会

●温泉保養宿泊施設再生整備事業

3月臨時会

市長及び副市長の給与の特例に関する条例に対する修正案

温泉保養宿泊施設開業の遅れに対して、社会的責任を感じ、市長↓50%×3カ月 副市長↓30%×3カ月の減給処分が出されましたが、公金の多大な支出（工事費の1億5000万円増・補償費4880万円）に対し責任があり、不十分として、市長の減給の期間を3カ月↓4カ月に修正

●平成29年度一般会計補正予算…温泉保養宿泊施設利活用事業経営支援金

支援金

●平成30年度一般会計補正予算…温泉保養宿泊施設利活用事業経営支援金

議案質疑



甲案第2号 多久市公告式条例の一部を改正する条例について

野北 悟

質問 各町公民館での掲示を廃止する提案に至った経緯と今後の対応について。

答弁 条例等の公布は市役所掲示場及び市役所がある北多久町以外の各町公民館の掲示場で掲示をしていますが、掲示物の管理上、掲示場には、その一部しか見られない状況にあることから、公告式に係る事務の見直しに伴い、今後、条例、規則の公布及び規程の公表については市役所掲示板と市ホームページに掲載します。

乙案第2号 平成30年度多久市一般会計予算について

平間 智治

公立病院統合検討に要する経費

1136万円について

質問 公立病院統合検討に係る支援業務委託の業務内容、検討する部署

は。また、小城市との連携は。

答弁 資料収集、データ分析等を効果的に達成するために、豊富な経験と高い専門知識を有する事業者に業務を委託します。平成30年度から、総合政策課に担当職員を配置します。現在、双方の病院及び企画担当で打ち合わせ等を行っており、今後も、双方の担当部署及び病院関係職員での協議を進めます。



野北 悟

空家の適正管理に要する経費

23万4000円について

質問 具体的な対応に要する費用が計上されていないが、その理由は。

答弁 特定空家の認定状況は、平成29年12月に市空家等対策協議会において22件認定しています。現在この指定した22件に対して、法律に基づく指導、助言等の実施のため所有者

の調査を行っ

ている状況で

す。この指導、

助言で改善等

が見込めない

場合に、協議

会の意見を聞

き、勧告、命令と段階を踏んでいき

ます。命令等までいく時間が相当見

込まれるので、平成30年度について

は具体的な対応の費用を計上して

ません。



地方創生推進交付金事業に要する経費 3640万3000円について

質問 街なか元気プロジェクト事業の評価と今後の対応について。

答弁 街なか元気プロジェクト事業は、一般社団法人たく21と市まちづくり協議会等が、取り組んでいる事業で、県内外からアーティストを招き、ウォールアートやシャッターペイントを制作、街なかの賑わいや交流人口増加を目的に取り組んでいます。また、店舗の物件情報を収集し、情報発信を行い、街なかへの出店を手助けするための開業支援事業を実施しています。

ふるさと応援寄附に要する経費

6298万8000円について

質問 平成29年度予算は減額補正をしているが、平成30年度予算は増額している。その理由は。

答弁 平成29年度は当初予算1億800万円を計上していましたが、年度末の歳入見込み額5000万円台になる見込みのため、歳入歳出で減額補正を行いました。

平成30年度は、歳入で1億円を計上、歳出については、寄附受け付けウェブサイト、広報等強化予算の増額を予定しています。また、ふるさと応援寄附金の活用として、市立病院に災害時医療体制整備のために設置する、DMAT車両整備事業429万円を計上し、平成29年度より増額した予算となります。



田 淵 厚

田 淵 ・ 古 賀

地方公共交通運行に関する経費

3071万1000円について

質問 平成30年2月の運行見直しの主な内容と、ふれあいバス・ふれあいタクシーの周知、広報は。

答弁 ふれあいバスの見直し内容は、東多久立山線、西多久納所線、南多久岸川線の3路線について、フードウェイから市役所間の経路を国道203号線から県道小侍多久原線を経由する経路に変更しています。ふれあいタクシーの見直し内容は、週3日の運行を、月曜日から土曜日の週6日間運行とします。嘱託員を通してチラシ配布が主な広報です。今後は老人会での広報を予定、また、民生委員会での広報もお願いしたいと思います。

牛 島 和 廣

高齢者温泉保養施設送迎委託料

78万8000円について

質問 今回、計上した理由について。

答弁 現在運営している老人福祉センター管理運営委託費の中に送迎バス費用も含まれており、老人福祉センター機能を温泉保養施設に移転した場合、市社会福祉協議会と交わし

ている老人福祉センター管理運営委託契約は解除することになります。温泉保養施設に移転後も引き続き社協所有バスで送迎をするため、老人福祉センター管理運営委託以外で別途発生することから、今回、予算案に計上しています。

温泉保養施設利用促進事業助成金

630万円について

質問 助成金の内容は。また、現在のむつみ荘と移設後の運営の違いについて。

答弁 市内高齢者65歳以上及び障害者手帳所有者を対象として、タクア利用料金（一人当たり200円予定）を助成します。

老人福祉センターむつみ荘は、市社会福祉協議会に運営委託を行っていましたが、今後はタクア2階東側、443㎡のスペースでタクアが運営します。

國 信 ・ 野 北

足裏診断事業委託料

213万2000円について

質問 事業の目的は。また、業務内容について。

答弁 足裏の健康は子どもの成長にとって非常に大切で、足の成長は将

来の体の成長に影響していきます。



そこで、子どもたちの足裏診断を行い、偏平足やO脚などの足の異常を見つけ、改善方法をアドバイスし、保護者と園が情報を共有することで、子どもの健全な成長を支援する取り組みです。市保育協議会が取り組んでいる足裏診断事業を継承し、義務教育学校1・2年生までを対象に、効果等を検証していきます。

古 賀 公 彦

マスタープラン策定委託料

870万円について

質問 業務内容について。

答弁 現在の都市計画マスタープランは平成16年度に策定しましたが、計画策定時から社会情勢が大きく変化し、人口減少、高齢化社会が進行する中、現行の都市計画マスタープランの進捗状況及び都市の現況の変化等を踏まえて、アンケート調査やワークショップ開催など、住民の意見を反映させ、各地域別の課題、将来像、整備方針等を総合的に取りまとめ、平成33年度以降の都市計画マスタープランを策定します。

中 島 慶 子

社会資本整備総合交付金事業

1億9350万円について

質問 事業概要と、トイレ改修工事の内容について。

答弁 中央公園内の園路整備、旧緑が丘小学校跡地の実施設計、中央公園と西溪公園のトイレ改修工事を計画しています。



トイレの改修工事の内容は、中央公園と西溪公園のトイレの建て替え工事、西溪公園トイレは、便器の増設を計画しています。

公園の維持管理に要する経費

4642万6000円について

質問 公園長寿命化策定計画委託の事業内容について。

答弁 現在の公園長寿命化策定計画は、平成27年度より事業に着手しており、今回、社会資本整備総合交付金制度の事業採択要件の見直しが行われ、平成29年度より、優先度の高い事業に対し交付金を配分されるようになりました。国への事業申請の内容が変更となり、現在の長寿命化

議案質疑／審査報告

策定計画の見直しを行う業務委託になります。

樺島 永二郎

スクールバス運行管理業務委託

6804万円について

質問 前年度予算5961万6000円に比べ増額しているのはなぜか。また、部活動合同練習での送迎による運行数の増加について。

答弁 平成25年度に契約した契約期間が今年度末で終了することから、平成30年度以降の事業者を募集、選定する必要があるため、車両整備費や人件費等の増額を見込んだ予算です。



部活動合同練習は、平成29年度12月、1月に、計3回運行しています。平成30年度も運行を計画しています。現在の契約では管理時間数2万6763時間、走行距離20万2100kmとなっており、これまでの実績を考えれば十分対応できます。

平間・樺島

志田林三郎顕彰事業に有する経費

1311万9000円について

質問 具体的な内訳と、自記電流計復元制作委託の内容について。

答弁 講演会やワークショップ等の開催に7万8000円、旅費102万2000円、需用費32万6000円（ポスター等の印刷費用）、役務費232万円（資料運搬費、借用資料保険料）、委託料925万6000円（展示デザインや設営費、カビ薫蒸料、自記電流計復元制作委託料）、企画展準備のための臨時職員雇用経費11万7000円です。

自記電流計を可能な限り正確に復元するための作成委託です。



反対討論

野北 悟

議案第4号 平成30年度多久市土地区画整理事業特別会計予算について

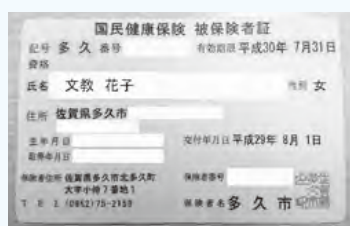
この事業終結は市にとって重要な課題です。当初予算は、その年度内に何を行うかの自治体の意思表示であり、予算計上がされないままでは交渉も行われません。県との協議と並行して踏切移設に関する予算を計上し、事業終結に向けた最大努力を行うべきだと考えます。

服部 奈津美

議案第6号 多久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

「国保税は高すぎる」「払いたくても払えない」「現状でも大変なのにこれ以上上がったらやっていけない」などの声が上がっています。

いずれは皆が国保に加入することになります。個人の負担が増えないようにすべきだと考えます。



農林事業に係る予算措置の確保を求める意見書

大雨対策については、岸川防災ダムの改修工事が、平成29年度末に完了する見込みです。干ばつ対策について、平成31年度には東多久町の一部の地域に、嘉瀬川からの補給水を供給できるようになります。

東多久町羽佐間から道灌ため池までの工期は、平成31年度完了予定となっていますが、平成29年度末現在の進捗率は約25%となっており、3年程度の工期の延伸が見込まれます。

つきましては、農業用水の安定確保のため県営事業の早期完成が必要なことから、農林関係の予算確保に取り組んでいただきますよう強く要望いたします。

総務文教委員会 審査報告



多久市公告式条例の一部を改正する条例

公告式に係る事務の見直しを行い、公示文公告式について規定し、多久市公告式条例の一部を改正する

ものです。

審査の過程で、条例等の交付については、市のホームページでも見られるとありましたが、インターネットが使えない高齢者に配慮するように意見がありました。



多久市個人情報保護条例及び多久市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、市個人情報保護条例及び市特定個人情報保護条例の一部を改正するものです。

主な内容は、個人情報の定義の明確化、要配慮個人情報の定義の追加及びそれに伴う所要の改正を行うものです。

多久市債権管理条例

市の債権の管理に関する事務について必要な事項を定め、事務の一層の適正化を図り、公正円滑な行財政運営に資するため、新たな条例を制定するものです。

主な内容は、市の債権を適正に管理する台帳を整備、債務者の情報を事務の遂行に必要な限度で利用すること、自力執行権のない「その他の債権」のうち、一定の要件のもとで放棄することができるものを規定し、放棄した債権については議会に報告することになっています。

審査の過程で、早く条例を整備していれば債権が増えなかったのではないかと、債権管理に携わる職員の知識や経験が必要ではないかなどの意見がありました。

産業厚生委員会 審査報告



多久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険事業は、平成30年4月1日から都道府県が中心的な役割を担い、市町村とともにその運営を行うことから、条例の一部を改正するものです。

主な改正点は、市町村に新たに「国民健康保険事業費納付金」の納付が業務付けられる仕組みとなることと、制度改正後は都道府県が提示する「標準保険税率」を参考に市町村で税率を定めることとなるため、標準保険税率準拠で税率改正するものです。

審査の過程で、今回の税率改正が医療費と大きく関わりがあり、医療費適正化に取り組む必要性は理解できるもので、市民の皆さんに周知する際は、分かりやすく、丁寧な説明が必要だとの意見がありました。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

都道府県と市町村の両者に国民健康保険条例が定められることになり、市町村条例は、その事務について規定したものとするため、所要の改正を行うものです。また、制度改正に伴い、被保険者適用除外に係る取り扱いについて、県内統一化を図るための改正も行われます。

多久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

平成30年4月1日より高齢者の医療の確保に関する法律が改正されます。国民健康保険の被保険者で、施設入所等による住所特例の適用を受けている人が、後期高齢者医療制度に加入した場合の取り扱いについて法改正されますので、本条例の保険料を徴収すべき被保険者の規定について改正が行われます。



審査報告

字の区域の変更について

基盤整備促進事業大坪・中原地区の換地処分に伴い、字の区域を変更するもので、地方自治法第260条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

土地改良事業の施行について

国営筑後川下流土地改良事業によって造成された佐賀西部導水路、多久揚水機場、白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路及び白石導水路の6つの基幹施設については、土地改良事業計画を定め、関係自治体協力のもと、土地改良事業として維持管理及び機能保全を行っていく予定です。

市道路線の認定について

本議案は、市道の認定（5路線、延長1476・8m）を提案するもので、女山トンネル開通に伴う、山口平山線延長984m、他新規路線認定をするものです。

今回の路線認定より、市全体の路線は700路線、総延長は32万6950・8mとなります。



予算特別委員会 審査報告



平成30年度多久市一般会計 予算

当初予算総額は、123億円で、対前年度比2億5000万円、2・0%の減となっています。

市税

再開予定の温泉保養宿泊施設での入湯税540万円を含む、総額1億1557万5000円

地方消費税交付金

3億1000万円

地方交付税 40億円

国庫支出金

16億5396万2000円

県支出金

8億4505万1000円

繰入金 12億2690万5000円

市債 14億2680万円

審査の過程で、特定空家については、行政代執行など強制力をもった対策をすべきとの意見、ふるさと応援寄附については、国から返礼品の価格について寄附額の3割までに抑えるよう指導がされているが、工夫しながら増額に努めるようにとの意見等がありました。

平成30年度多久市土地区画 整理事業特別会計予算

総額は、3億4408万1000円で、対前年度比1551万9000円、4・7%の増となっており、平成29年度に引き続き整地工事、道路整備工事等の面整備を行うものです。

審査の過程で、区画整理事業の計画変更手続きを県と協議されているが、問題解決に向けての努力が不十分

分との意見等がありました。

平成30年度多久市公共下水 道事業特別会計予算

総額は、5億6467万2000円で、対前年度比5229万5000円、8・5%の減となっています。

審査の過程で、浄化槽については、個人設置型から市で設置・管理する市町村設置型へ移行して欲しいという意見等がありました。



委員会の活動報告



行政視察報告

議会運営委員会

日時 平成30年1月30～31日

視察先 大分県大分市議会

大分県中津市議会

①大分市議会「決算審査及び事務事業評価」について

大分市議会では、平成17年から議会改革として、決算審査の改革を重ね、現在は、決算審査特別委員会の中に分科会（常任委員会）をもつて、所管項目の審査にほぼ全議員が参加



する体制になっています。予算審査も同様で、予算と決算の審査に一貫性を持たせることで効果的な審査になっています。

また、市民福祉の向上と市政の発展を目的として、事務事業評価を導入、事業の必要性・妥当性・達成度・費用対効果の観点から「拡充」「継続」「終了時期を設定し終了」「休止・廃止」の評価を行い、意見を付し、事業の点検改善に努め、翌年度の予算編成に反映させる取り組みもされています。事業選定フロー、評価フロー等の詳細な説明も受けました。

②中津市議会「議員間の自由討議及び決算審査」について

中津市議会では、「開かれた信頼のある議会」「行動する議会」「創る議会」を3本柱に議会マニフェストを策定されており、視察目的である「議員間の自由討議」は、「創る議会」の改革項目の一つです。自由討議の進め方は、会派からの提案、議会運営委員会で承認し議案とします。定例会中に議場において、議長進行のもと1議題50分間とし、提案者説明後、自由討議を行います。

毎年、5～6件の議案が提出、議員の多方面からの意見、反対討論の機会があるので、議会としての合



意形成や意識の共有を図ることができ、政策の研究や、議員のスキルアップに繋がっています。

合意形成の結果、政策としてまとめたものを決議として議決し、議会意思として、市長へ提言されており、活発な議会の様子から「言論の府」としての議会の姿が見えました。

全議員が加わることで、議会の活性化や結束に繋がることを実感した視察研修でした。今回の視察をきっかけに議会改革に取り組みます。

大分市議会方式「全議員参加、分科会方式の決算審査」について運用を協議し、9月定例会より実施することに決定しました。

議案番号	議案名	議決結果 賛否表																議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
		野口 義光	野北 悟	中島 慶子	服部奈津美	國信 好永	田中英行	飯守 康洋	榊島永二郎	香月 正則	中島 國孝	田淵 厚	角田 一彦	古賀 公彦	平間 智治	牛島 和廣	山本 茂雄	
3 月 定 例 会																		
※議案等について、賛成、反対の双方あった場合のみ、掲載しています。																		
議案甲第6号	多久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案乙第4号	平成30年度多久市土地区画整理事業特別会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
3 月 臨 時 会																		
	議案甲第15号市長及び副市長の給料の特例に関する条例に対する修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正案可決
議案甲第15号	市長及び副市長の給料の特例に関する条例（修正案を除く原案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正案を除く原案可決
議案乙第22号	平成29年度多久市一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案乙第23号	平成30年度多久市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席



國信 好永

老人福祉センターむつみ荘の機能移転について

國信 むつみ荘を移転するメリットは。

答弁 築39年を迎え耐震基準が満たされておらず、今後対応が必要になります。同規模施設の整備には見積りで4億円程度必要となったが、改修工事は6418万円で収まり費用対効果はあったと考えます。

國信 移転整備費1065万円の内訳は。

答弁 市内在住の65歳以上及び障害者手帳をお持ちの方に1日1回200円を助成する費用として630万円、老人クラブ会員等の送迎用バス関連委託料として78万8000円、テーブルその他の備品整備に318万3000円です。

國信 むつみ荘では、利用者が弁当などの持ち込みを行っていたが、移転後も可能なのか。

答弁 事業所内で販売されるものをご利用いただきたいとのことですが、

活力ある多久市にするための方策は

國信 多久市は佐賀県の中央にあり、高速道路のインターチェンジもあるが、他の道路とのアクセスが悪く生かし切れていない。人口は市長就任後21年間で21%も減少し、「住みたいまち多久」とは夢幻なのか、今後、どのように導かれるのか。

答弁 国内の人口減少社会の中で市も大きな波にさらされており、大変難しい問題ですが、重要課題として取り組みをしてきました。女山峠トンネルも開通しアクセスも良くなっています。市の将来像を「緑園に輝くみんなで創る文教・安心・交流のまち」として掲げており、ICT教育の推進やシェアリングエコノミーの着手、ストックマネジメントという新しい施策による予算を確保し、色々な変化にも応じながら、常に未来志向で努力していきたいと思っています。



公共施設の運営について



飯守 康洋

飯守 中央公民館・地区公民館・市立図書館・郷土資料館の施設長及び職員等の雇用、勤務体制・報酬等はどうなっているか。

答弁 公民館は住民の皆様をつなぎ、コミュニティの活動拠点となっています。若い世代や子どもたちを取り込んで、地域住民の心の拠り所になるように、中央公民館、各町公民館、郷土資料館は、それぞれ努力をしています。

中央公民館館長の勤務体制は、週3日勤務で、1日7時間45分です。中央公民館長は、任期を1期2年。年齢は、原則として就任日現在で64歳以下とし、再任する場合は任期を70歳を迎えた年度の3月までという条件で募集しており、公募が原則です。

各町公民館長は、任期については、中央公民館長と同じ1期2年。年齢要件も同じです。各町の生涯学習推進委員会から推薦を受けており、それを教育委員会で決定しています。郷土資料館長の任期は、1期2年

とし、年齢は公民館長と同じ要件で原則公募としています。

一般職非常勤職員は週29時間勤務で、1日5時間から6時間程度の勤務で割り振って勤務をしています。

各町公民館長ですが、週3日間勤務で1日7時間45分です。市立図書館長は教育振興課長が兼務しており、日々雇用職員の司書のうち1名が週5日勤務で、7時間45分の勤務をしています。

郷土資料館長は開館時間の関係上、1日6時間勤務の週4日間、合計24時間勤務となります。

報酬は中央公民館長が月額14万6000円、各町公民館長が月額12万2000円、郷土資料館長が月額14万6000円になっています。





平間 智治

空き家対策について

平間 特定空家の認定状況は。

答弁 国のガイドラインを参考に市独自でチェック表を作成し、周辺への影響について立入調査を行い、空家等対策協議会で協議を行い、危険性が高いと考えられる31件のうち22件を特定空家等に認定しました。

平間 特定空家に対する指導の状況は。早急な取り組みを。

答弁 助言、指導、勧告、命令と段階を踏んで行いますが、実績はゼロで、現在、所有者等の調査を行っています。

平間 解体費の助成・固定資産税の減免など、先進地の事例を参考にしています。

答弁 公平の観点からどの程度の支



援が適当か現在内部でも検討しています。

平間 発生の抑制、専任相談員の配置等、見守り活動の支援はできないか。

答弁 専任相談員の配置は考えていません。見守りは嘱託員との連絡と把握で対応できると考えます。

協働のまちづくり体制の整備について

平間 第4次市総合計画の後期基本計画の地域コミュニティづくりについて、今後の取り組みは。

答弁 皆で取り組む参画と協働のまちづくりを目指し、活性化や組織強化のための支援を今後も継続していきます。

平間 佐賀市の事例のように、小学校校区ごとのまちづくり協議会に、市からの財政面および（設立前：印刷製本費等、設立後：人口に応じて110～190万円等）、人材面での支援（設立前：専門のファシリテーターを配置、設立後：1校区1人の配置）ができないか。

答弁 市主導の画一的な地域の組織づくりは考えていない状況ですが、育成するための中間的な支援は必要だと思うので、可能な限り支援していきたいです。



牛島 和廣

老人福祉センター「むつみ荘」について

牛島 むつみ荘は、タクア開所の日程と合わせての入居なのか。また、管理運営の委託先は。

答弁 温泉保養宿泊施設の開業日が確定後に発表予定です。また、運営管理については株式会社タクアに実施していただくことで、詰めの協議を行っています。

牛島 タクアを利用される交通弱者の方に対し、交通の利便性を高めていただきたいが。

答弁 タクア開業に合わせ、3路線のふれあいバスについてはバス停として取り入れ、ふれあいタクシーについても乗降場所としていきます。

大規模災害と防災対策について

牛島 災害の長期化と農業被害について2カ月も雨が降らないなど干ばつ等も災害ではと考えるが、この渇水等の水対策は。

答弁 今出川流域の灌漑用水の確保



について、緊急的ではありませんが、今出ダム3万トン、八丁ダム3万トンの合計で6万トンの水源があります。干ばつが長期に及ぶ場合もありますので、安定的な農業用水確保のために工事を行っている県と協力し、筑後川下流土地改良事業の早期完成に取り組んでいます。

牛島 市全域を網羅したハザードマップではなく、地区毎の危険地域に対してハザードマップを作成するべきでは。

答弁 まずは市内全域をカバーしたハザードマップの作成を考えています。また、地域ごとのハザードマップに関しては、それぞれ自主防災組織において地域の危険箇所等の情報を聞き取りながら作成を進めています。



香月 正則

鳥獣被害対策について

香月 現在の鳥獣被害の実態について。

答弁 平成28年度の市内の農作物に対する鳥獣被害は、被害面積として6・74ha、被害額は791万5000円となっています。

香月 ワイヤーマッシュ柵に板を設置し先が見えないようにすることで被害が減少した事例があるが、対策としてどうか。

答弁 目隠し板の設置は有効な対策と考えています。中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度の交付金を活用し、改修や機能向上に活用していただければと思います。

香月 鳥獣被害対策として個体数を抑制するところが一番の対策と考えられる。猟友会による狩猟がこれに当たると思いますが、年間に捕獲されている頭数は。



答弁 平成28年度の捕獲の実績は1390頭です。

香月 駆除期間の鳥獣被害対策として市独自で補助を増やすことはできないか。

答弁 増額等は他市の状況等を確認しながら、捕獲の強化につながるのであれば検討していきます。

選挙投票について

香月 共通投票所を学校、また、シヨップングセンター、中核施設、病院等に設置できないか。

答弁 設置する課題も多くあります。大きな課題として、どの投票所の選挙人も投票できることから、二重投票をどうやって防ぐかという対策が非常に難しいと考えます。

投票と市内の活性化について

香月 投票済証を提示することで、市内の店舗等と連携しサービスを受けられる仕組みをつくり、投票と商業の活性化としてはどうか。

答弁 選挙管理委員会としては、利害誘導につながることから、投票啓発活動と営利活動は切り離して考えるべきではないかと認識しています。



田淵 厚

買い物弱者対策について

田淵 買い物店舗数はそんなに減っていませんが、ほとんどの店舗が郊外にあるために車の運転ができない方、免許証を返納された方は不便です。そうした対策は。

答弁 現在、店舗数は増えていますが。買い物弱者の状況は、健康状態、経済状態、店舗までの距離、自家用車保有の有無、交通手段の状況、変りに買い物をしてくれる方、付添ってくれる家族や近隣者の有無によるため、買い物弱者数を正確に把握するのは困難です。

ふれあいバスは現在3往復6便運行しており、現状のダイヤで便数を増やすことは困難です。ふれあいタクシーはふれあいバスを補完する制度で、現在は週3日から週6日の月曜から土曜に拡大して対応しています。

田淵 市の高齢者支援制度として、介護保険制度の訪問介護サービス、食の自立支援事業、生活管理指導員派遣事業などありますが制度内容と利用状況は。

答弁 訪問介護サービスは介護保険の要支援、要介護認定を受けた方で家族支援が得られない場合に、買い物支援等含め家事生活支援を行っています。生活管理指導員派遣事業は、要支援、要介護認定に至る前の独居高齢者の方に自立と生活の質の確保を図り、見守りながら指導や援助を行っています。食の自立支援事業は、65歳以上の単身の世帯や高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯、身体障害者のうち、老衰、心身の障害、疾病などの方に、安否確認と食の確保のため実施しています。

田淵 多久市の高齢者人口が減少していくのは何年後か。

答弁 2年後の平成32年の6805人がピークでその後は減少すると推計されています。





街で
発見!

～時代を駆け抜けた多久の偉人～ 「日本電氣工学の祖 志田 林三郎」

1855年(安政2年)～1892年(明治25年)



愛用の電信用検流計を持つ33歳ごろの姿
(佐賀駅前通り)

佐賀市内を歩いていると、佐賀の偉人のモニュメントがたくさん設置してあります。そのなかに、ベンチに座り未来を見通すような表情の像がありました。

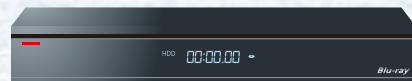
そう、多久の偉人「志田林三郎」です。林三郎は、幼少期から利発で学問に優れ特に数学が得意でした。6歳の頃、母の手伝いでまんじゅう商の勘定を手伝う林三郎の計算があまりに早いので、小憎らしく思った大人たちが一斉に注文し、困らせようとしたことが、勘定を間違えることがなく、地元では神童と呼ばれていました。

東多久町出身で、多久の学問所「東原厩舎」で学んだあと1872年(明治5年)に藩費で工部省工学寮(現東京大学工学部)の第1期生となりました。世界初の電氣工学専門の高等教育機関である電信科で学び、首席で卒業。日本初の工学士となったあと、スコットランドのグラスゴー大学へ国費で留学し、そこで執筆した「帯磁率の研究」が、その年の最優秀論文賞を受賞しました。帰国後は、工部大学(後帝国大学)教授の傍ら、工部省技術官僚としても活躍し、1888年(明治21年)に日本初の工学博士となり、自ら創設した日本電氣学会で、電氣工学の未来技術(無線通信・長距離伝送・映像音声記録など)の発展がもたらす現代のIT社会を予見するなど、100年以上先の未来を見据えていました。

1892年(明治25年)、「出世も早かったが、死ぬのも早かった」そう惜しまれながら36歳で亡くなりました。



グラスゴー大学、最優秀論文に与えられる
クレランド金メダル



委員 野口香月 義正 光則 野田北 渚 悟厚	委員長 樺島永一郎 副委員長 服部奈津美	議会広報委員会
--	-------------------------------	-------------

訂正とお詫び

議会だより第35号 2ページ

「主な議案」平成29年度 多久市一般会計補正予算
市重要文化財森家住宅の屋根補修費97万6000円を
976万円と記載していました。

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけし
ましたことをお詫びします。